

## 第31回 全国中学校バスケットボール大会

～ 青い海 輝く 島根で君は神話になる～

【試合結果】

NO.62

女子 決勝トーナメント		(準決勝)					
日時	平成13年 8月 20日(月)	9:30～					
会場	松江市総合育館 Bコート	第1試合					
結果	東京成徳中 62 (東京)	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>36</td><td>27</td></tr> <tr><td>26</td><td>21</td></tr> </table>	36	27	26	21	純心中 48 (長崎)
36	27						
26	21						
主審	濱田省三	副審	渡辺博史				

【個人トータル表】

東京成徳中 (東京)						
番号	氏名	得点	3P	2P	F T	反則
4	伊藤奈月	15	0	7	1	3
5	塚野理沙	13	0	6	1	4
6	木村友香	5	1	1	0	2
7	高田真里子	11	0	5	1	2
8	庄司佳世					
9	田端彩美					
10	伊沢怜奈					
11	中澤朋美					
12	川村美穂					
13	有馬沙織					
14	見上梨沙					
15	吉田亜沙美	12	0	6	0	1
16	板坂優貴					
17	山田菜美	6	0	2	2	4
18	有山景子	0	0	0	0	0
合計		62	1	27	5	16

純心中 (長崎)						
番号	氏名	得点	3P	2P	F T	反則
4	出岐奏	14	1	3	5	2
5	前田愛矢佳	7	1	2	0	0
6	瀬崎津貴妃	11	0	4	3	5
7	中村睦月					
8	町田由佳					
9	清島さやか					
10	渡邊舞					
11	納富美帆	5	1	1	0	1
12	副島真実	0	0	0	0	0
13	中川聴乃	11	0	5	1	2
14	竹原梨沙					
15	平田梨香					
16	平川五月					
17	小川千穂	0	0	0	0	1
18	高田菜美					
合計		48	3	15	9	11



女子準決勝、ここまであぶなげなく勝ち上がってきた東京成徳と準々決勝で苦しんで勝ち上がった長崎純心の一戦。前半ともにマンツーマンでスタートする。立ち上がりから、成徳はプレッシャーディフェンスからボールを奪い、塚野のゴール下、吉田の速攻で着々と加点しペースをつかむ。一方の純心は速いボール回しから1対1を仕掛けるも、プレッシャーがきつくシュートが決まらない。開始5分で14対0とリードする。その後、純心 出岐3Pで初ゴールを決めると、1対1からファールを誘い、中川ゴール下、前田ミドルで残分5分には28対14と食らいつく。中盤、成徳は塚野がベンチに下がってからリズムが狂い始め、シュートミスを連発、3分間ノーゴールが続く。純心はリフェンスリバウンドを頑張り逆にブレイクを出し、出岐 納富3P、中川ゴール下で得点し、27対36まで詰め寄って前半を終了する。

後半スタートから純心は前田 瀬崎らが積極的に1対1で攻め込むがシュートが決まらない。逆に成徳はプレッシャーディフェンスから木村3P、吉田速攻、1対1で得点を重ね、中盤までに54対34でリードを広げる。成徳はリードガード 吉田がベンチに下がると、本来のリズムで攻められなくなる。その際に純心は中川がディフェンスリバウンドを頑張り、瀬崎ドライブ、出岐 前田のミドルで追い上げを見せる。しかし、成徳は慌てることなく残り2分にリードガードの吉田をコートに戻し、ゲームを自ペースで仕上げた。結局、持ち前のトランジションゲームと個々に1対1の能力に勝る東京成徳が、62対48で本大会V2に王手をかけた。敗れた純心の最後まであきらめないプレーに会場も大きな拍手を送っていた。

記録者 岡村 雅史 (県バス)

田村 雅史 (県バス)

【トーナメント戦績】



